

日本文学



天を掃け

黒川裕子／著 中村ユミ／絵
講談社（2019年）

モンゴルの大地を駆け回って育った駿馬は、日本で陸上部に入るも、あることがきっかけでさぼり続けている。ところが、星狂いの不登校児すばると知り合い、一緒に星を追いかけるうちに、何かに夢中になることを思い出して…。

手のひらの楽園

宮木あや子／著
新潮社（2019年）

長崎の離島で、母子家庭で育った友麻は女子高生に。エステティシャンを目指し学校寮生活を始めた高校2年目。どんな時でも自分らしく突き進んでいく主人公がかっこよく、温かな友情もあり、元気づけられる作品。



日本文学



おカネの教室 僕らがおかしなクラブで学んだ秘密

高井浩章／著
インプレス（2018年）

平凡な中学2年の僕と大富豪の美少女が、謎の大男の江守先生が顧問のクラブでお金について学んでいく。面白く読み進めていくうちに、お金や経済の仕組みがわかる、経済系青春小説。

ガラスの梨 ちいよんの戦争

越水利江子／作 牧野千穂／絵
ポプラ社（2018年）

大阪で暮らす小学生の笑生子は戦時中に兄の出征・戦死、学童疎開、空襲など様々な悲劇と苦労に見舞われますが、その中でもたくましく生きていく姿が描かれています。著者の母親をモデルとした戦争物語です。



日本文学



お か ち ま ち 御徒町カグヤナイト

浅原ナオト／著

KADOKAWA (2019年)

花見で酒飲んで警官から逃げた夜、彼女は僕をナンパした…。中三の春、ヒロトはカッコいいことが好きなワケあり仲間と4人で、自称「月の王国の姫」ノゾミを護るチームを作り、周囲の殻を壊すためのミッションに挑んでいくことに。

青少年のための小説入門

久保寺健彦／著

集英社 (2018年)

ヤンキーの登^{のぼる}にピンチを救われた中学生の一真^{かずま}は、見返りに小説の朗読をするように言われる。多くの小説を朗読するうち、登と小説家を目指すことに…。小説家になるための大変さや苦悩、経験を経て、二人にどのような未来が待ち受けているのか？

